

正誤表

区分	ページ	段	行	誤	正	
学術報告書	97	図3	全樹木 縦軸	0 0.5 1 1.5 2 2.5 3 3.5 4	0 1 2 3 4	
	99	左	9-10	阿相ら(2004)	阿相ほか(2005)	
	100	右	16-18	越地正・鈴木清・須賀一夫1996.	文献削除	
	101	左	25	続出される	続出する	
	101	右	5	田村ほか, 2005	田村ほか, 2005a	
	101	右	18	田村ほか, 2005	田村ほか, 2005a	
	101	右	21	田村ほか, 2005	田村ほか, 2005b	
	102	左	29	63.3	66.3	
	103	左	7	35cm以上75cm未満	35cm以上65cm未満	
	103	右	14	不嗜好種	不嗜好性種	
	103	表1	東MA, 西MA	No.	No.	項目名から No. を削除
	104	表2	項目名	不嗜好種	不嗜好性種	
	110	表6		ケヤキ-モミ林	モミ-ケヤキ林	
	111	表4		凡例を加筆	I: 初期段階, Y: 若齢段階, M: 成熟段階, O: 老齢段階	
	112	図5	左図	スギ(壮)	スギ(成熟)	
	112	図5	左図	ヒノキ(若)	ヒノキ(若齢)	
	112	図5	右図	スギ(壮)	スギ(成熟)	
	112	図5	右図	ヒノキ(若)	ヒノキ(若齢)	
	112	図6	左図	スギ(壮)	スギ(成熟)	
	112	図6	左図	ヒノキ(若)	ヒノキ(若齢)	
	112	図6	右図	スギ(壮)	スギ(成熟)	
	112	図6	右図	ヒノキ(若)	ヒノキ(若齢)	
	115	右	37	田村ほか, 2005	田村ほか, 2005a	
	117	右	25	2005	2005a	
	117	右	29	2005	2005b	
	276	左	15-16	齋藤和久	齋藤和久	
	281	右	5	×10 ⁶	×10 ⁶	
	289	図12	凡例	□陸生 ■水生	□水生 ■陸生	
	305	右	1-2	各沢の個群	各沢の個体群	
	378	右	1	0.993-0.994	0.993, 0.994	
	380	右	11	生長	成長	
	381	左	16	少雪	少雪化	
	382	左	41	4月にはって	4月に入って	
	477	右	22	(神奈川県, 2006)	削除	
	481	右	38	尾根状	尾根上	
	483	右	24	(山根ほか未発表)	(第3章1節-I)	
	484	左	6	相原啓二	相原敬次	
	518	図25		図25. 図-18	図-18を削除	
	647	要約		年間にわたって	3年間にわたって	
	650	左	6	を可能とするサービスとして	削除	
	650	右	6	新保全計画	改訂保全計画	
	668	左	11-12	支援システム, 2006	支援システム, 2005	
668	左	12	再生プロジェクト, 2006	再生プロジェクト, 2005		
668	左	13	センター, 2006	センター, 2002		
681	右	2	-optimization	-an optimization		
689	右	9	以下の値を	表1の値を		
696	左	4	$y=65.826x^2+102.3$	$y=65.826x^2+102.3$		
700	右	16	林道沿いの荒廃	林道沿いの林業適地では荒廃		
703	右	3	標高1000m以上	標高がおおよそ1000m以上		
720	右	6	中川川・玄倉川	削除		
	第5章および第6章		http://e-tanzawa.agri.pref.kanagawa.jp/	http://e-tanzawa.jp/		
動植物目録	271	右	9	Hermyini	Hermini	
	271	右	10	Hermya beelzebul	Hermyda beelzebul	
	271	右	11		文献に明神峠(鈴木ほか, 2004)を加筆	
	271	右	35-37	クロヒゲナガハナバエの項	3行削除	